記者発表資料

平成22年6月21日

報道機関各位

国土交通省中部地方整備局
富士砂防事務所

お 知 ら せ

1．件名

富士山大沢崩れで小規模な土石流が発生

2．概要

平成22年6月19日午前2時10分頃、富士山大沢川の大滝地点（標高約1,500m）に設置しているワイヤーセンサーが切断され、大沢崩れからの土石流発生が想定されました。

富士砂防事務所から監視カメラで直後の状況を確認しましたが、下流の大沢川扇状地(標高900mより下流)へ土石流が達した様子は見られませんでした。

（大滝地点のワイヤーセンサーが切断されたのは、昨年6月21日と11月14日以来のことで、この2回の時にはそれぞれ源頭部(標高約2,200m)の監視カメラで土石流発生を確認しましたが、今回は夜間でかつガスが滞留して状況は不明でした。）

富士山大沢崩れには、平成16年12月以後大規模な土石流の発生がなく、約36万m^3の土砂が堆積しているものと推定しており、今後も富士砂防事務所は大雨時に大沢川の土石流監視を行って行きます。（参照；http://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/db/db-kisya/10030801.pdf）

・雨量観測情報

御中道雨量観測所

H22年6月18日14時の降り始めから6月19日午前5時までの総雨量：111mm

ピーク時（19日1時から2時まで）1時間雨量：16mm

3．添付資料

・位置図

・岩樋監視カメラの映像

4．記者発表資料配付先

富士宮市記者クラブ、富士市記者クラブ

5．問い合わせ先

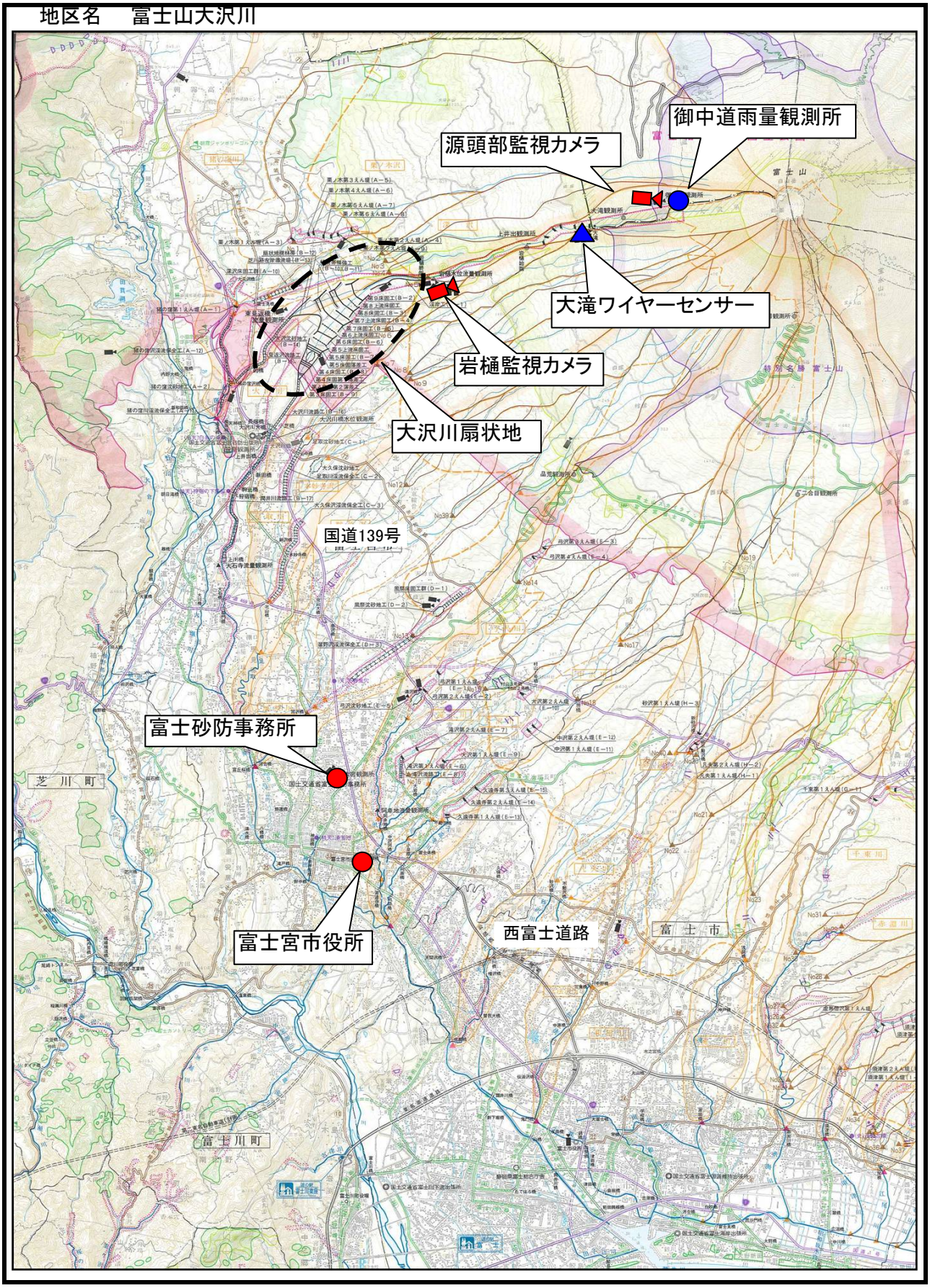
富士砂防事務所　調査・品質確保課長　永井健二

TEL：0544-27-5387（調査・品質確保課）

（携帯：090-1560-3443）

位　置　図

地区名　富士山大沢川



岩樋上流（標高約920m） 監視カメラの映像

平成22年　6月19日　4:00

平成22年　6月19日　5:00